事務事業マネジメントシート（21年度実績と22年度計画）

22年度予算確定後 平成 22 年 3 月 26 日 作成
21年度決算把握後 平成 22 年 月 日 作成

事務事業名	熊本県農業会議参画事業					☐ マニフェスト関連 ☐ 全庁横断課題関連 ☐ 集中改革プラン関連	
総合計画体系	政策	1	人々が安全に安心して暮らせるまちづくり	所属部		課長名	立山 和文
	施策	6	計画的な土地利用の推進	所属課	農業委員会	担当者名	坂本強
	基本事業	18	農業振興地域の形成	所属班	農地班	（内線）	1182
予算科目	会計 1 / 款 6 / 項 1 / 目 1 / 事業連番 10177	法令根拠	農業委員会等に関する法律			成果優先度評価結果	11
						コスト削減優先度評価結果	6
終了、開始年度	☐ 21年度で終了 ☐ 22年度から開始	事業期間	☐ 単年度のみ ☑ 単年度繰返（開始年度 年度） ☐ 期間限定複数年度（ ～ 年度）				

★事務事業の概要（具体的なやり方、手順、詳細。期間限定複数年度事業は全体像を記述）

【事業の内容】（開始した背景・きっかけ・今後の状況変化を含む）	農業会議との連絡調整及び会議、研修会等に積極的に参加し、農業委員会職員及び農業委員としての知識向上を図る。
【業務の流れ】	各農業委員への通知、研修会の同行・参加
【主な予算費目】	負担金補助及び交付金、旅費
【意見や要望】関係者（住民、議会、事業対象者、利害関係者等）からどんな意見や要望が寄せられているか？	なし

1 現状把握の部（DO、PLAN）

(1) 事務事業の目的と指標

① 手段（主な活動）21年度実績（21年度に行った主な活動）（DO）
熊本県農業会議に負担金を支払い、農業委員会に関する情報を定期的に入手し、農業委員会に関する研修に参加した。

22年度計画（次年度に計画している主な活動）（PLAN）
熊本県農業会議に負担金を支払い、農業委員会に関する情報を定期的に入手し、農業委員会に関する研修に参加する。

④活動指標（事務事業の活動量を表す指標）＝①の指標 （単位）
⇒ ア 研修に参加した人数 人
イ （単位）

② 対象（誰、何を対象にしているのか）＊人や自然資源等
・農業委員会職員
・農業委員

⑤対象指標（対象の大きさを表す指標）＝②の指標 （単位）
⇒ ア 農業委員会職員数 人
イ 農業委員数 人

③ 意図（この事業によって、対象をどう変えるのか）
・農業委員の現状及び最新情報を入手できる。
・農業委員会に関する知識を身につける

⑥成果指標（意図の達成度を表す指標）＝③の指標 （単位）
⇒ ア 新たな知識を身につけた委員の割合 %
イ 新たな知識を身につけた職員の割合 %

＊⑥成果指標設定の理由と平成22年度目標値設定の根拠
平成21年2月27日に農業委員の改選が行われ、大幅に交代したので、農業委員会に関する情報を定期的に入手し、農業委員会に関する研修に参加し、農業委員としての知識を見につけるため。

(2) 各指標・総事業費の推移

		単位	19年度 実績(決算)	20年度 実績(決算)	21年度 目標(当初予算)	21年度 実績(決算)	22年度 目標(当初予算)	23年度 予定	24年度 見込	総トータルコスト 全体計画 ～ 年度（期間限定複数年度のみ記載）
④ 活動指標	ア	人	32	32	32	32	32	32	32	
	イ									
⑤ 対象指標	ア	人	4	4	4	4	4	4	4	
	イ	人	28	28	28	28	28	28	28	
⑥ 成果指標	ア	%	100	100	100	100	100	100	100	
	イ	%	100	100	100	100	100	100	100	
投入量 事業費 財源内訳	国庫支出金	千円								
	都道府県支出金	千円								
	地方債	千円								
	その他	千円								
	繰入金	千円								
	一般財源	千円	254	226	272	254	272	272	272	
	（A）事業費計	千円	254	226	272	254	272	272	272	0
	(A)のうち指定経費	千円								
	(A)のうち時間外、特勤	千円								
人件費	正規職員従事人数	人	2	4	4	4	4	4	4	
	延べ業務時間	時間	80	24	24	24	24	24	24	
	(B)人件費計	千円	318	96	96	96	96	96	96	0
トータルコスト(A)+(B)		千円	572	322	368	350	368	368	368	0

合志市

事務事業名	熊本県農業会議参画事業	所属部		所属課	農業委員会

2 評価の部(SEE)

＊原則は21年度の事後評価、ただし複数年度事業は21年度実績を踏まえての途中評価

目標達成度評価	①21年度目標達成度評価 事務事業の前年度実績は前年度目標値を達成したか、未達成の場合その原因は？	☑達成した　☐達成しなかった　⇒【原因】
	②22年度目標達成見込み 事務事業の本年度目標値に対して本年度の見込みはついているか？	☑目標達成見込みあり ⇒【理由】　☐目標達成は厳しい　⇒【理由と対策】 熊本県農業会議に負担金を支払い、農業委員会に関する情報を定期的に入手し、農業委員会に関する研修に参加する。
有効性評価	③成果の向上余地 次年度以降にこの事務事業の成果を向上させる余地はあるか？成果が頭打ちになってないか	☑向上余地がある　⇒【理由】　☐向上余地がない　⇒【理由】 毎年新たな知識を身につけるためには、毎年参加する必要がある。
	④類似事業との統廃合・連携の可能性 目的を達成するには，この事務事業以外他に方法はないか？類似事業との統廃合ができるか？類似事業との連携を図ることにより、成果の向上が期待できるか？	☐他に手段がある　（具体的な手段，事務事業）　☑他に手段がない　⇒【理由】 ☐統廃合・連携ができる　⇒【理由】 ☐統廃合・連携ができない　⇒【理由】 類似事業は無い。
効率性評価	⑤事業費の削減余地 成果を下げずに事業費を削減できないか？（仕様や工法の適正化、住民の協力など）	☐削減余地がある　⇒【理由】　☑削減余地がない　⇒【理由】 拠出金については均等割りと残額を農家個数・農地面積で算出しており削減は困難である。
	⑥人件費（延べ業務時間）の削減余地 やり方を工夫して延べ業務時間を削減できないか？成果を下げずにより正職員以外の職員や委託でできないか？（アウトソーシングなど）	☐削減余地がある　⇒【理由】　☑削減余地がない　⇒【理由】 職員に限られるため、削減できない。
公平性評価	⑦受益機会・費用負担の適正化余地 事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか？受益者負担が公平・公正になっているか？	☐見直し余地がある　⇒【理由】　☑公平・公正である　⇒【理由】 拠出金については均等割りと残額を農家個数・農地面積で算出しており公平・公正である。
役割分担評価	⑧行政の役割分担の適正化 事務事業のやり方や手段においてこれまでの行政、市が行ってきた範囲を住民や地域・団体に移行出来ないか？	☐見直し余地がある　⇒【理由】　☑役割分担は適正である　⇒【理由】 農業委員としての、知識を身につけるため、他での対応は、できない。

3 評価結果の総括(SEE) ※事務事業全体の振り返り、成果及び反省点等を記入

熊本県農業会議に負担金を支払い、農業委員会に関する情報を定期的に入手し、農業委員会に関する研修に参加した。
毎年新たな知識を身につけるためには、毎年参加する必要がある。

4 今後の方向性(事務事業担当課案)(PLAN)

(1) 今後の事業の方向性(改革改善案)・・・複数選択可

☐廃止　☐休止　☐目的再設定　☐事業統廃合・連携　☐事業のやり方改善(有効性改善)
☐事業のやり方改善(効率性改善)　☐事業のやり方改善(公平性改善)
☑現状維持(従来通りで特に改革改善をしない)

(2) 改革・改善による期待成果
(廃止・休止の場合は記入不要)

		コスト		
		削減	維持	増加
成果	向上			
	維持		○	
	低下			

(3) 改革，改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策

特になし。

合志市